

★ 提案42に賛成の議論 ★

提案42に「賛成」の一票を：退職金や老後の貯蓄を州の税金から守りましょう。

California州は現在、全米で3番目に老後の生活費が高い州です。毎年、生活費や税金の負担が増え、貯蓄することがますます難しくなっています。2026年4月に実施された調査では、California州民の73%が、経済的な理由で退職を延期せざるを得なかった人を身近に知っていることが分かりました。

California州憲法は現在、二重課税を認めています。

しかし、California州憲法では現在、州議会が、退職基金や貯蓄口座などの個人資産の価値に対して課税することが認められています。住民がすでにその資金を得た際に所得税を支払っているにもかかわらず、これは、政治家が同じお金に二重に課税できることを意味します。つまり、所得を得たときに一度課税し、さらにそのお金が退職基金や貯蓄口座に保有されているときにも課税できるのです。それこそが、二重課税です！

ここ数年だけでも、州議会や特定の利害関係者は、退職口座や貯蓄口座に課税する6つの個別の法案を提出しています。

California州では税金も生活費もすでに高すぎます。私たちの個人資産や退職貯蓄への課税から守るための措置が必要です。

提案42は、退職貯蓄や貯蓄への課税を禁止します。

提案42は、特定の利害関係者や政治家によるこの二重課税からCalifornia州民を守るため、州憲法を改正します。具体的には、この法案は以下を定めています：

- 退職基金、年金、貯蓄口座などの個人資産に対する新たな課税を禁止します。
- 遡及課税を禁止します。
- 今年および将来における、退職貯蓄や貯蓄への新たな課税をすべて禁止します。

提案42は、あらゆる退職基金および貯蓄を新たな課税から守ります。

California州民の約80%が、何らかの退職基金または貯蓄を保有していると回答しています。その中には、貯蓄を始めたばかりの若い労働者、年金制度に加入している教師、消防士、警察官、そして経済的な安心を得るために貯蓄に頼っている退職者が含まれます。

この法案は、401(k)、年金、IRA、個人貯蓄など、あらゆる形態の個人資産を新たな課税から守ります。

「提案42は、California州民の貯蓄と退職生活を守ります。組合員の苦労して築いた年金であれ、小規模事業者のIRAであれ、退職後の生活に対する新たな課税が、人々と、将来のために計画してきた経済的な安心との間に立ちはだかるべきではありません。」—Chris Hannan、California州建築・建設業協会会長（数十万人の組合所属建設業従事者を代表）

提案42は、不公平な遡及課税を禁止します。

州は、納税者が過去に得た所得に対して遡って適用される新たな税金を導入できるべきではありません。提案42は、新たな税金について、有権者が承認した後にのみ適用されることを義務付けます。

「これは、公平性と常識の問題です。人々は何年もかけて退職後の生活を計画します。だからこそ、長年にわたる貯蓄や計画を台無しにするような変更が生じない、安定した予測可能なルールが必要です。提案42は、その確実性をもたらします。」—Sean Morgan、認可を受けたファイナンシャルアドバイザー

提案42は、California州プロフェッショナル消防士協会や米国傷痍軍人会California州支部をはじめ、高齢者、退役軍人、小規模事業者、ブルーカラー労働者、退職者など、幅広い団体からなる連合に支持されています。

California州民はすでに、高い生活費と税金に苦しんでいます。多くの人は、退職後の生活はある程度安心して送れるよう、生涯をかけて働いています。政治家や特定の利害関係者が、私たちの退職貯蓄や貯蓄に課税することは違法とすべきです。

あなたが働いて得て、貯めてきたお金です。今こそ、それを守る必要があります。

どうか私たちと一緒に提案42に賛成票を投じてください。

YesonProp42.org

Michael Hedges、会長

California州小規模事業者協会

Shelley Huff、司令官

AMVETS（米国退役軍人協会）California州支部

Jennifer Yoder、理事

California州シニア同盟

★ 提案42の賛成意見に対する反論 ★

これはまた別の、富裕層が資金を提供する策略です。

だまされないでください—提案42は、本当に新たな課税からあなたの退職貯蓄を守ることが目的ではありません。

これは、約200人の富裕層が自分たちの税金の支払いを引き続き免れる一方で、その負担をあなたが負わされることになる、重複した高額な策略です。

提案42は、富裕層課税を帳消しにするものです

提案42は、California州の「富裕層課税」である提案40を撤回することを目的として、富裕層が資金を提供する策略です。

提案42が投票にかけられることになったのは、富裕層たちが公平な負担分の税金を支払いたくないからです。富裕層たちは、自分たちの莫大な資産に対する、わずかな一度限りの課税を負担するくらいなら、何百万人も働く人々が医療保障を失うことを選ぶのです。

この法案の背後にいるのは誰なのでしょう？ Donald Trump氏の献金者の一部が資金を提供しています

この法案の背後にいる富裕層は、あなたの退職貯蓄を守ることなど気にかけていません。彼らが守ろうとしているのは、自分たち自身で

す。彼らは長年、抜け穴や税制上の優遇措置を利用して、自分たちが本来負担すべき税金の支払いを免れてきました。

この見せかけの住民発議は、あなたのような有権者をだまして、富裕層への課税を実施できないものにするために作られたものです。だからこそ、あなたは「反対」の一票を投じなければなりません。

提案40は、富裕層が保有する2兆ドルの資産にのみ課税します。

提案42の背後にいる富裕層は、California州の富裕層課税（提案40）について嘘を広め、退職貯蓄や貯蓄が危険にさらされていると有権者に思い込ませようとしています。

恐怖をおおるような主張に惑わされないでください。California州の億万長者課税は、億万長者にのみ適用されます。これは、富裕層によく公平な負担分を支払ってもらい、病院の閉鎖や医療費の急騰を私たちが負わずに済むようにすることが目的です。

提案42に反対票を投じてください。

Suzanne Jimenez、首席補佐官

SEIU-United Healthcare Workers West（SEIU西部医療従事者組合）

★ 提案42に反対の議論 ★

提案42には反対票を投じてください。これは、California州の「富裕層課税」である提案40を撤回することを目的として、富裕層が資金を提供する住民発議です。

提案42は、富裕層課税を帳消しにするものです

提案42が投票にかけられた理由は一つだけです—富裕層たちが公平な負担分の税金を支払いたくないからです。この住民発議は、あなたのような有権者をだまして、富裕層への課税を実施できないものにするために作られたものです。だからこそ、あなたは「反対」の一票を投じなければなりません。

富裕層たちの嘘に騙されないでください。提案42は、個人資産への新たな課税を防ぐことが目的ではありません。これは、富裕層が支払いを避けたいと考えている特定の税金を阻止することが目的です。富裕層は、自分たちの莫大な資産に対する、わずかな一度限りの課税を負担するくらいなら、何百万人もの働く人々が医療保障を失うことを選ぶのです。

提案42は、あなたに医療費をもっと負担させたい富裕層によって資金提供されています。

提案42の主要な資金提供者の一人は、Googleの創業者でトランプ氏の献金者でもあるSergey Brin氏です。Brin氏の資産は、トランプ氏の

当選以降、ほぼ2倍となり、3,000億ドル近くに達しています。現在、同氏は、富裕層への課税を帳消しにしようとする提案42のような見せかけの法案に資金を提供するため、5,700万ドル以上を支出しています。連邦上院議員のBernie Sanders氏は、Brin氏によるこの尊大な行動を「受け入れられない」と批判しました。

Donald Trump氏は、大規模な税制上の優遇措置によって、働く人々の懐からお金を取り上げ、Brin氏のような富裕層に与えました。提案42を支持する富裕層は今、あなたに医療費をもっと負担させようとしています。

富裕層課税を支持するなら、提案42に「反対」の一票を投じてください。

California州で働く家庭が病院を利用でき、手頃な医療費を維持できるよう、富裕層に公平な負担分を支払ってもらう機会が私たちにはあります。提案42に反対票を投じてください。

Suzanne Jimenez、首席補佐官

SEIU-United Healthcare Workers West (SEIU西部医療従事者組合)

★ 提案42への反対意見に対する反論 ★

提案42を支持しているのは誰なのか

提案42は、新たな課税からすべてのCalifornia州民の退職貯蓄や貯蓄を守るため、数十万人の高齢者、退役軍人、消防士、ブルーカラー労働者、公共安全職員、働く家庭から支持されています。

提案42を反対しているのは誰なのか退職口座への課税を望んでいる団体の一つです。

なぜ提案42が必要なのか

Sacramentoの政治家や特定の利害関係者は、近年、退職口座や個人貯蓄口座への課税を繰り返し導入しようとしてきました。彼らは、California州憲法の抜け穴を利用してきました。この抜け穴によって、政府は私たちが所得を得た際に課税できるだけでなく、その所得が単に貯蓄口座や退職口座に保有されているだけでも、再び課税できるのです。

California州は、二重課税がなくても十分に生活費が高いのです

提案42は、退職口座や貯蓄口座、その他の個人資産への新たな課税をすべて禁止することで、この二重課税を防ぎます。これには、州議会による法案として提案されるものや住民投票にかけられる法案として提案されるものが含まれ、今年の投票にかけられる法案や、将来提案される法案も対象となります。

これは、政治家や特定の利害関係者が私たちの退職基金や貯蓄口座に課税しようとする動きに対する、包括的な州憲法上の保護です。

提案42によって恩恵を受けるのは誰なのか

提案42は、すべてのCalifornia州民の退職貯蓄や貯蓄を守ります。貯蓄を始めたばかりの若い労働者、年金制度に加入している教師、消防士、警察官、そして経済的な安心を得るために貯蓄に頼っている退職者や退役軍人がその対象です。

あなたが貯めたお金です。あなたには、それを手元に残す権利があります。

提案42は、シンプルなお金を投げかけています。California州の政治家に、退職口座や貯蓄口座を含むあなたの個人資産に課税する権限を与えるべきでしょうか。

退職貯蓄や貯蓄を税金から守るべきだと考えるなら、提案42に「賛成」の一票を投じてください。

Darrell Roberts、会長

California州プロフェッショナル消防士協会

Chris Hannan、会長

California州建築・建設業協議会

Brian R. Marvel、会長

California州平和担当官研究協会